

(別紙)

小中学校施設整備事業（荒川）【実施中】

◆計画策定時

事業名	小中学校施設整備事業（荒川）						総事業費		550,100千円	
予定年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
	●	●	●							
事業概要	屋内体育館の改築とプールの移設に併せてグラウンドを改修する。 ・屋内運動場(完了) ・屋内運動場解体(完了) ・校舎耐震改修(完了) ・プール ・外構 ・屋外運動場									

◆今後の対応（取り扱い）

本事業の内、屋内運動場改築及び校舎耐震改修については、平成22年度までに完了しているが、プールの移設とそれに伴う外構工事等については、市内小中学校の耐震改修工事を最優先に実施してきたため未実施となっている。

未実施の項目については、平成19年度に基本構想の設計は完了しているが、工事着手に必要な実施設計は未実施のため、来年度に実施設計を行い事業完了に向けて着手していきたい。

地区生涯学習拠点施設整備事業（山北）【未着手】

◆計画策定時

事業名	地区生涯学習拠点施設整備事業（山北）						総事業費		206,000千円	
予定年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
			●	●						
事業概要	旧村上高校山北分校校舎をリニューアルして、生涯学習センター、公民館、民俗資料館としての利活用を図る。 ・多目的ホール ・体験活動センター ・大小研修室 ・展示室 ・視聴覚室 ・図書館 ・ふれあい広場 ・能力活用工房 ・学習相談室									

◆今後の対応（取り扱い）

本事業は、山北地区の生涯学習拠点施設として旧村上高校山北分校校舎をリニューアルし活用を図る計画であったが、山北支所庁舎等の建設を優先したことや当初計画にはなかった耐震診断が必要になったことなどから未着手となっている。

平成26年度に耐震診断を行った結果、耐震改修が必要と判定され、耐震改修費用は概算で1億4千万円ほどかかる見込み。

耐震診断の結果を受け、山北地区における生涯学習拠点について再度検討した結果、旧村上高校山北分校校舎を耐震改修しリニューアルするよりも、さんぽく会館をバリアフリー化するなど使い勝手のよい施設にリニューアルし、山北地区の生涯学習拠点施設として活用することが望ましいと考え、来年度にリニューアルに向けて関係団体等との話し合いの場を設け、また、設計コンサルタントの業者も入れながらリニューアル構想を作成したい。

なお、旧村上高校山北分校については、教育関連施設としての活用にとらわれず、様々な視点で山北地区に即した活用を検討していきたい。

(別紙)

埋蔵文化財センター建設事業【未着手】

◆計画策定時

事業名	埋蔵文化財センター建設事業						総事業費		697,600千円	
予定年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
							●	●		
事業概要	収集された貴重な民俗資料及び遺物を保存・展示し、交流人口の拡大を図る。 ・埋蔵文化財センター（鉄筋コンクリート造・平屋建） 2,500㎡ ・設計監理									

◆今後の対応（取り扱い）

本事業は、旧朝日村で発掘調査された奥三面遺跡群から出土した膨大な出土品と市内の考古遺物や民俗資料の収蔵保管と展示公開する施設を建設する事業であり、建設予定地は縄文の里・朝日の敷地内を予定していたもの。

当初目的の奥三面遺跡群からの出土品と民俗資料については、旧門前谷小学校と旧荃太小学校で収蔵している。また、旧山辺里小学校を利用して埋蔵文化財の整理と遺物の保管を行っている。

今後も日本海沿岸東北自動車の建設工事に伴う発掘調査で出土品の増加が見込まれるが、公共施設の空きスペースの有効利用により対応したいと考えていることから、新たに埋蔵文化財センターの建設は行わないこととしたい。

なお、現在、計画されている道の駅朝日のリニューアルを予算も含め市の重要な計画と位置付け、このリニューアルの中で市内の歴史文化施設への誘導を図る取り組みを強化していきたい。

小中学校施設整備事業（神林）【未着手】

◆計画策定時

事業名	小中学校施設整備事業（神林）						総事業費		300,000千円	
予定年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
								●	●	●
事業概要	学校統合に向け、既存施設を利用し、校舎等の間仕切り改修等で対応の方向。									

◆今後の対応（取り扱い）

本事業は、旧神林村で平成19年に答申された「学校統合に関する答申書」を受け計画されたもので、統合の際に必要な施設改修を行う計画となっている。

小中学校の施設整備については、統合計画の有無にかかわらず耐震診断、耐震補強工事を最優先に実施してきたが、昨年度、学校統合における基本的な考え方となる「村上市立小・中学校望ましい教育環境整備計画方針」をまとめ、本年度より説明会等を開始したところです。

この整備計画方針では平成31年度を目途に統合を進める予定としているが、統合を進めるにあたっては、保護者や地域の方々、学校と十分な協議を進め、合意形成を図りながら進めていくこととしていることから、本事業の実施については、関係者等の協議や合意形成の進捗状況を見ながら必要に応じて予算計上していきます。